

腎臓病 SDM セミナー2020

ベーシックコース



セミナー開催趣旨

Shared Decision Making とは

腎代替療法（RRT）を必要とする末期腎不全に進行した際、患者、家族は難しい選択を迫られます。RRT のいずれを選択するか、あるいは非透析支持療法を選択するかは、患者の人生を大きく左右するものであり、患者、医療者の十分な話し合いと理解が必要です。

患者が十分に治療法について理解し患者の価値観・意向を尊重した選択ができるようにするための取り組みは、Shared Decision Making（SDM）と呼ばれます。

一方、わが国では RRT 選択にあたって、SDM が十分に理解され、普及しているとは言えません。

高齢の慢性腎臓病患者が増加している今日、患者にとって最善の選択をすすめるには、腎臓病診療における SDM の普及が重要となっています。

医療に従事し、医療を提供する立場にあるものとして、自信をもって SDM を実践し、医療者・患者ともに満足度の高い医療を提供し、一人一人に適切な治療法を選択する援助ができるように、一緒に SDM に取り組んでいきましょう。

（腎臓病 SDM 推進協会設立趣旨より）

セミナーの目的

- Shared Decision Making（SDM）を定義できる
- 効果的な SDM に必要な要素を指摘できる
- SDM を実践するのに必要な手法を理解する
- 当協会冊子を使った説明手法に習熟する
 - 冊子を使った SDM の手法を習得する
 - 冊子の内容・使い方を提言する
- RRT 選択決定の進め方を共有する
 - 他施設の経験から学ぶ

治療法決定のプロセス

	Informed Model インフォームド・モデル	Shared Decision Making 共同意思決定	パターナリズム 父権主義
情報交換	医師→患者	医師↔患者	医師→患者
	医学情報	医学情報 個人・社会情報 (価値観・生活)	医学情報
検討	患者(家族他)	医師と患者(家族他)	医師のみ
最終決定	患者	医師と患者	医師

Charles C. Social Science & Medicine 49:651, 1999

Shared Decision Makingとは

質の高い医療決断を進めるために、最善のエビデンスと患者の価値観、好みとを統合させるための医療者と患者間の協働のコミュニケーション・プロセス

Spatz ES. JAMA, 2016

患者と医師が情報、直感だけでなく決定を下すことも共有する協働的な努力・企て

Whitney SN. Ann Intern Med, 2003

医療者と患者が協働して医療上の決定を下すプロセス

Legare F. Patient Education and Counseling, 2014

医療者と患者と一緒に患者にとって最善の治療選択を決定する。最適な決定はエビデンスに基づいた選択肢に関する情報と、医療者の知識と経験、患者の価値観、意向を考慮にいれる

Agency for Healthcare Research and Quality

SDMの基本9要素 (Makoul & Clayman)

1. 問題を明らかにし、説明する
2. 選択肢を提示する
3. 利益/リスク/費用に関して話し合う
4. 患者の価値観・好みを明らかにする
5. 患者の能力・自己効力について話し合う
6. 医師の推奨を話し合う
7. 患者の理解度を評価する
8. 決定を下す・保留する
9. フォローアップを調整する

SHAREアプローチ 米国医療の質研究局 (AHRQ)方式

1. **S**eek your patient's participation
患者参加を求める
2. **H**elp your patient explore and compare treatment options
患者が治療法選択を求め、比べることを支援
3. **A**ssess your patient's value and preferences
患者の価値、好みを評価する
4. **R**each a decision with your patient
患者とともに決定に至る
5. **E**valuate your patient's decision
患者の決定を評価する

プログラム

13:00～	オープニング
13:10～	講義「患者にとって最適な治療選択を目指して（SDM とは）」 コンセプト・推進協会紹介・ツール案内
14:00～16:00	グループワーク ① 自己紹介・課題共有 ② ロールプレイによる SDM の実践 Phase1～4 ③ グループワークのまとめ
16:00～18:00	全体共有、ディスカッション、Q&A まとめ

SDM 実践セミナーグループワークの進め方

1. 幹事・サポーターの皆様には、患者役・評価役として参加いただきます。
2. 各グループで自己紹介と役割分担をサポーターの指示で行います。
Phase1：医師 1～2 名、Phase2：看護師 1～2 名、Phase4：医師 1 名・看護師 1 名、全体共有の発表者 1 名
グループの編成により、できるだけ多くの方が関われるよう人数配分してください。
3. 3 回の面談+1 回のグループ内ディスカッションを通して療法決定まで進めていただきます。
各 Phase の開始と終了時間はアナウンスされます。トイレ休憩は各自適宜お願いします。
 - Phase1：医師の外来（15 分）
 - Phase2：看護師による面談（30 分）
 - Phase3：情報共有とディスカッション（15 分）
 - Phase4：再診 治療法の決定（20 分）
 - グループワークのまとめ：発表内容のディスカッション（20～30 分）
4. 次ページ以降の各 Phase の背景情報および各 Phase の進め方を確認の上、グループワークを進めてください。また、各 Phase の内容について自己チェックリストに記載してください。
5. グループワーク終了後の「全体ディスカッション」セッションにて、各グループよりワークの振り返り、印象に残ったフレーズ、冊子の感想・意見などを発表いただきます。Phase4 終了後、グループ内で発表準備をお願いします。発表内容のシートを埋めたら、会場に移動してコーヒブレークをどうぞ。

Phase1： 医師の外来	15分
---------------	-----

(患者役の方は、症例カードと合併症カードを医師に提示してください)

【背景情報】

<p>あなたは、SDM 病院の腎臓病を診る医師と看護師です。</p> <p>連携しているかかりつけ医と今までに数回やり取りしている患者が、末期腎不全となり、再紹介されて受診に来ています。患者は、以前から腎不全とは理解しており、腎代替療法については、知る機会はありましたが、遠い先の事と思っていました。</p>
--

紹介された患者は、検査結果から、近々に腎代替療法の導入を要する状況でした。

外来の医師は、患者に SDM の手法に従い、患者に末期腎不全について説明し、腎代替療法の選択肢について、Evidence に基づいた医学的知識をもとに理解させ、選択の必要性を説明してください。

最後に、「看護師による療法選択説明を受けてください」という趣旨の話をしします。

チェックシート：Phase1 医師による外来 SDM

- | | | |
|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| ● 医師の話し方は丁寧で信頼できるものだったか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師の言葉遣いは、適切であったか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師の態度は、適切であったか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 患者の話をよく聞いてくれたか。 | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師は患者の人生観や死生観に関わる話を聞いたか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師は患者に療法選択への参加の必要性を話したか。 | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師は治療法の選択肢をエビデンスにもとづいて説明したか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師は治療法を比較して説明したか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師は患者にどれくらい理解できたかを確認したか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師は、患者とともに治療法を考えることを話したか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師は患者が今どのように感じているか気持ちを聞いたか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |
| ● 医師は、看護師からの療法説明があることを話したか | Yes <input type="checkbox"/> | No <input type="checkbox"/> |

○一方的な情報提供になっていなかったでしょうか。

○自分の職場での現状と比べて、気づいたこと。

○この説明で患者は、選択肢について理解できたでしょうか。

○どこを改善すると、もっと良い SDM になるでしょうか。

○心を動かされた有効なフレーズ、よかった言葉があったら記載してください。

(ex 「私たちと一緒に考えましょう」)

Phase2： 看護師による面談 30分

(患者役の方は、「腎臓病あなたに合った治療法を選ぶために」冊子を看護師に提示してください)

1. あなたは、外来患者に腎代替療法の必要性と、治療法について説明する役割の看護師です。SDM の手法にもとづいて、療法説明を行うために、「腎臓病 あなたに合った治療法を選ぶために」という冊子を患者と共有し、活用しながら療法選択に必要な患者の背景や価値観、嗜好、患者が大切にしていること、治療にあたっての希望を引き出してください。
2. まず、患者の情報シートオレンジとピンクのページをできるだけ埋めてもらうように促し、情報を得ます。

(今回は時間の都合により、患者役が事前に記入しています。内容の確認や追加の情報収集を行ってください)

3. その後、ブルーのページと「腎不全治療選択とその実際」を利用して治療法の説明を行います。
4. 最後に、黄色のページに面談の記録/コメントを記入し、両者でサインをしてください。

チェックシート：Phase 2 看護師による療法選択の説明

- 看護師の話し方は丁寧で信頼できるものだったか。 Yes No
- 看護師の言葉遣いは、適切であったか Yes No
- 看護師の態度は、適切であったか Yes No
- 患者の話をよく聞いてくれたか Yes No
- 看護師は患者に療法選択への参加の必要性を話したか Yes No
- 看護師は、治療法をツールを用いてわかりやすく説明したか Yes No
- 看護師は、治療法の選択肢を比較して説明したか Yes No
- 看護師は、患者にどれくらい理解できたかを確認したか Yes No
- 看護師は、患者とともに治療法を考えることを話したか Yes No
- 看護師は、患者が今どのように感じているか気持ちを聞いたか Yes No
- 看護師は、治療法の決定は変更できることを話したか Yes No

○一方的な情報提供になっていなかったでしょうか。

○聞いていて、患者の立場としての気づきがありますか？

○自分の職場での状況や、自分の行ってきたやり方と比べて気づいたこと

○この説明で患者は、選択肢について理解できたでしょうか。

○どこを改善すると、もっと良い SDM になるでしょうか。

○心を動かされた有効なフレーズ、よかった言葉があったら記載してください。

(ex 「私たちと一緒に考えましょう」)

Phase3： 情報の共有とディスカッション 15分

患者は一先ず帰られました。

さて、今日の外来で得られた情報を医師と看護師で共有します。

この患者の大切にしていることはなにか、心配していることはなにか、何を大切にしたいと思っているか、どんな嗜好や人生観をもっているかなどを共有し、この患者に対する腎代替療法の選択肢とそれに伴うリスクとメリットについてディスカッションし、この患者への療法の選択肢の優先順を決めます。

<SDM ポイント>

- 患者は、療法決定に自分が参加する事を理解したか
- 患者は、治療法の種類について理解したか
- 患者の価値観、好みについての情報
- 患者の能力や自己効力はどのようなものであるか
- 医師としては、どの治療法を推奨するか
- 患者の理解度はどれくらいか
- 患者の治療についての希望は何だったか

チェックシート：Phase 3 情報の共有とディスカッション

○この患者の問題点はなにか

○この患者の価値観や嗜好について得られた情報は

○治療法を選択するにあたって、この患者の場合の各治療法の問題点はなにか

○どの治療法が最も適切とおもわれるか

○上記の選択肢以外の治療法のオプションはあるか そして、その優先順位

Phase 4 : 再診 治療法の決定 (医師と看護師一緒でもよいです) 20分

さて、後日患者が再診に来訪しました。

1. 今回は、いよいよ、最初に導入する治療法について、SDM の手法で決定まで行います。
2. Phase3でディスカッションして決めた治療法の優先順位にそって選択肢を提示し、SDM となる様、患者と治療法について話し合います。
3. その決定は患者と医療者での Shared Decision Making となったでしょうか？
4. 最後に、患者の選択は、今後も医療者により支援されていくことを説明します。
もちろん、治療法を変更することができることを必ず説明してください。
5. 面談終了時には、黄色のページに面談の記録/コメントを記入し、両者でサインをしてください。

チェックシート：Phase 4 再診時

- 医療者の話し方は丁寧で信頼できるものだったか。 Yes No
- 医療者の言葉遣いは、適切であったか Yes No
- 医療者の態度は、適切であったか Yes No
- 患者の話をよく聞いてくれたか。 Yes No
- 治療法の決定において患者任せに決断をせまったりしなかったか Yes No
- 医療者は患者の治療法決定への不安について聞きだしてくれたか Yes No
- 医療者は、患者の価値観や嗜好を理解していると感じたか Yes No
- 医療者と一緒に治療法を選択できたと感じたか Yes No
- この決定は、変更することが可能であると説明されたか Yes No
- 治療法選択後も、サポートが受けられることが説明されたか Yes No

○この面談を終えて、あなたが患者なら腎代替療法は何を選ぶか、そしてその理由は？

○この時点で、患者として不安に思うことはあるか

○この面談内容について、患者として感じたこと。医療者と一緒に選択できたと感じられましたか？

○あなたの現状と比べて、どこをどうしたら、もっと良いSDMになると思いましたか？

○心を動かされた有効なフレーズ、言葉があったら記載してください。

ex 「私たちと一緒に考えましょう」

グループワークのまとめ 30分程度

全体のディスカッションに向けて、次の点についてまとめて下さい。

1. グループワークについての感想
2. 患者との SDM の難しかった点や現状との差異について
3. 使用した、「腎臓病 あなたに合った治療法を選ぶために」についてのご意見
4. グループで最も心に響いたとおもう金のフレーズを一つ選んでください。

大変お疲れさまでした。 全体ディスカッションで発表する人は決まっていますか？
全体ディスカッションの会場へ移動してコーヒーマイクをどうぞ。

全体ディスカッションのメモ

腎臓病 SDM セミナー 2020 ベーシックコース

腎臓病 SDM 推進協会

禁無断転載